

# 令和6年度理事会報告

令和6年6月15日(土)14時00分より、宇都宮大学峰ヶ丘講堂において令和6年度理事会が開催された。以下に項目別に会議内容を記載する。



## 1. 開 会

司会の福井えみ子常任理事より開会の挨拶があった後、令和4年9月から令和5年6月までの物故者94名に対しての黙祷が行われた。次に、峰ヶ丘会則では「第17条 理事会成立は構成員の過半数の出席を必要とする。」となっており、本日は構成員92名の内、出席者36名、委任者35名で過半数となっているので本会が成立していることが報告された。

## 2. 議長選出

慣例により、宇田靖峰ヶ丘同窓会長が選出され、会場からの拍手をもって承認された。

## 3. 会長挨拶

宇田会長から挨拶があり、先ず、昨年行われた100周年記念事業のことが紹介された。次に、今年度事業計画の中に100周年関連事業があるが、一つは同窓会独自の事業として記念碑の設置と記念植樹、もう一つは大学が行っているヒストリカルゾーン整備に対する資金協力のことであることが紹介された。それから、昨年の100周年記念式典の直前に開催された支部長意見交換会において、各支部とも会員同士の交流が減っていることが大きな課題であることが明らかとなり、連絡体制と合わせて名簿のあり方を改めて検討することが必要だと考えていることが述べられた。そして、これらに対するの審議、忌憚の無いご意見を頂けるようお願いされた。

## 4. 議 事

### (1) 会務報告

大久保達弘理事長から、下記について報告された。

- ①「学生支援制度」の実施  
学費支弁1件、農学部栄誉賞3件、農学部奨励賞4件、海外旅費支援1件。
- ②学生支援の実施  
今年度は実施しなかった。
- ③理事会及び常任理事会等の開催  
2023年6月17日に理事会を開催した後、常任理事会は月に1回程度の開催で、100周年記念事業の前は月に2回程度開催。
- ④「峰ヶ丘会報」の発刊  
2023年8月10日に第161号を発行。

- ⑤農学部への協力支援  
農学部長に30万円をお渡ししている。100周年記念事業への協力で、5,339,682円を支出。
  - ⑥大学サポート（石蔵保存）事業  
大学からの協力依頼がなかったため実施しなかった。
  - ⑦「教育研究支援制度（教員会員）」の実施  
農学部栄誉賞1件。
  - ⑧新入生へのお祝い品贈呈  
クリアファイルと図書カード贈呈
  - ⑨支部総会への常任理事の派遣  
茨城支部と福島支部に福井、岩手支部と山形支部に大久保、秋田支部に松井、宮城支部に香川、栃木県庁支部に宇田会長、大塚副会長、池田学長、山根学部長、大久保理事長が招待され出席。
  - ⑩「会員名簿」の発刊  
2023年9月25日に令和5年度版発行、紙媒体としては最後の発行。
  - ⑪大学諸行事の協力  
学位記授与式と入学式へ宇田会長が参加。
  - ⑫農学部創立100周年記念事業  
2023年11月18日に宇都宮駅前のライトキューブで記念式典開催。  
農学部創立100周年記念誌発刊、同窓時報のPDF化、親子3代表彰を2組、卒業50周年祝典事業として演習林のヒノキでお祝い箸を作成、式典での配布用として手拭いを作成、支部長意見交換会の実施、昭和初期の古い写真を引き伸ばしてパネルを作成。
  - ⑬入会促進事業  
1年生から3年生の会費未納者に対して入会案内を送付。
  - ⑭その他の行事  
従来農学部全体で行っていた新入生歓迎会を学科ごとで開催した。  
2024年5月15日に会計監査をしていただいた。  
質疑等は無かった。
- (2) 令和5年度決算報告及び監査報告  
守山拓弥常任理事から、一般会計の歳入の部では、その他の収入として、100周年記念誌の売り上げ収入や栃木県庁支部からの寄付があったこと、歳入の部では、人件費が100周年事業の準備等により多くなっていること、旅費では支部総会への旅費が増えていること、会報発行費は印刷費の高騰があり多くなっていること、新入生歓迎会費はクリアファイルを数年分同時に発注したため増額となっていること、基本財産特別会計では100周年記念事業として5,339,682円の歳出があったこと等、決算書（案）についての説明が行われた。  
以上について、令和6年5月15日に中山喜一監事と岡田武監事による会計監査が行われた。  
引き続き、中山喜一監事から、会計監査を実施した結果、帳簿、通帳等適正に処理されていたとの報告が行われた。  
**【質疑等】**  
茨城支部長の平林秀男副会長：何のために6千万もの

基本財産があって、こういったことでこんなに貯まっているのが疑問点である、また、何か目的があって貯めているのかについてお伺いしたい。

**守山常任理事**：私の知る限りでは、これまでの会費が積み立てられてこうなっていて、預けたものの利子がたくさん付いていた時もあったと聞いている、以前は黒字が続いていたが昨今はマイナスとなっている現状である。名簿の発行以外は何か目的があつての積み立てではないと考えている。

**宇田会長**：何か特別な目的があつて貯めた訳ではないが、かなり前から数千万という基本財産があつて、過去はこれには手を付けないという方針であったが、近年は会費収入が減り、支出が多くなっているため基本財産から支出している。何故貯められたのかについて正確には分からない。

**田中秀幸理事**：理事長を担当したことがあり、その当時は1億近い金額があつた。終身会費がどっと入ってきたことがあり、それで増えた。目的はない。ただし、その後は減っていくだろうと予想していた。10年か20年はしのげるだろうとの説明を受けていた。

**吉澤緑理事**：常任理事として会計を担当していたことがあり、ただ単に貯金してきたわけではなく、講堂改修の支援等をしたりして、同窓会としてメリハリをつけてきちんとしてきた。同窓会館を建てることを検討したこともあつたが、難しい問題があり、それには至らなかった。

その他の質疑等は無く、(1)と(2)が承認された。

### (3) 役員承認

大久保理事長から、副会長が交代して杉本宏之副会長となること、理事長が交代して房相佑理事長となること、森林の方から選出された石栗太先生が常任理事となることが伝えられ、承認された。

上記3名の新役員から挨拶があつた。

### (4) 令和6年度事業計画(案)

大久保理事長から下記の通り、事業計画(案)についての説明が行われた。

#### ①「学生支援制度」の実施

昨年と同様に行う。

#### ②学生支援の実施

100円カレー等を続けて行う予定。

#### ③理事会及び常任理事会の開催

常任理事会は月に1回程度行い、理事会は来年の6月を予定している。

#### ④「峰ヶ丘会報」の発行

秋に162号発行予定。

#### ⑤農学部への協力支援

母校協力費として30万円の支出。

⑥「教育研究支援制度(教員会員)」の実施  
農学部栄誉賞の副賞、海外旅費支援。

⑦新入生歓迎会支援およびお祝い品贈呈

学生1名あたり1,000円を各学科へ支援およびクリアファイルの贈呈。

⑧支部総会への常任理事の派遣

お声掛けいただければ常任理事を支部総会へ派遣することで対応する。

⑨100周年関連事業

100周年記念碑および記念植樹、ヒストリカルゾーン整備事業支援。

記念碑については共同教育学部の建築デザインを担当している梶原先生にご協力いただきながら、材料としては地元の大谷石、芦野石、佐野の天明鋳物等をつかうことや設置場所等について検討していく。記念植樹については、日光植物園で育成された日光紅姫桜が一つの案として出されている。ヒストリカルゾーン整備には石蔵保存も含まれており、これらの予算として、1千万円を上限とするということが今回の提案である。

⑩大学諸行事の協力

入学式、学位記授与式への会長出席。

⑪入会促進事業

会費未納者に対して行う。

⑫海外支部創設支援

現在、韓国で支部創設の動きがありこれを支援する。その他、農学部の卒業生がいる、タイ、中国、インドネシア等の同窓生に対しての支援も考えられる。

⑬その他の行事

### (5) 令和6年度予算(案)

守山常任理事から、一般会計歳入の部の会費については入学者数214名の内70%の方に納入していただくことを想定して算出していること、歳出の部では通信費が高騰により増額されていること、旅費について支部総会への旅費が増えていること、会報発行費は印刷費の高騰により大幅に増額していること、学生支援経費には大学生協での食事提供等の学生特別支援事業の予算も含まれていること、新入生歓迎会費は各学科で行う歓迎会への支援になっていること、基本財産特別会計では、2,095,547円を一般会計へ繰り入れること、100周年関連事業(100周年記念碑および記念植樹、ヒストリカルゾーン整備事業支援)の上限支出額として1千万円を計上していること等、予算書(案)の説明が行われた。

(4)、(5)について質疑等は無く、承認された。

### (6) その他

特になく、議事が終了した。

退任となる大塚国一副会長と大久保達弘理事長から挨拶があつた。

## 5. 閉会

福井常任理事から閉会の挨拶があつた。その後、集合写真の撮影を行った。

終了後、16時から農学部大会議室において、池田学長、山根農学部長、松澤前会長にも出席いただいて、懇親会が開催された。

